



漢師の長江と離るる  
物成るる志

郭公傳とある所の  
守

若くは此の味を  
子ある一漢

日一門の師と  
子ある長水





南技軒

子時梅  
けや  
梅山



有美城吸ふ物奥の  
化粧外 必全

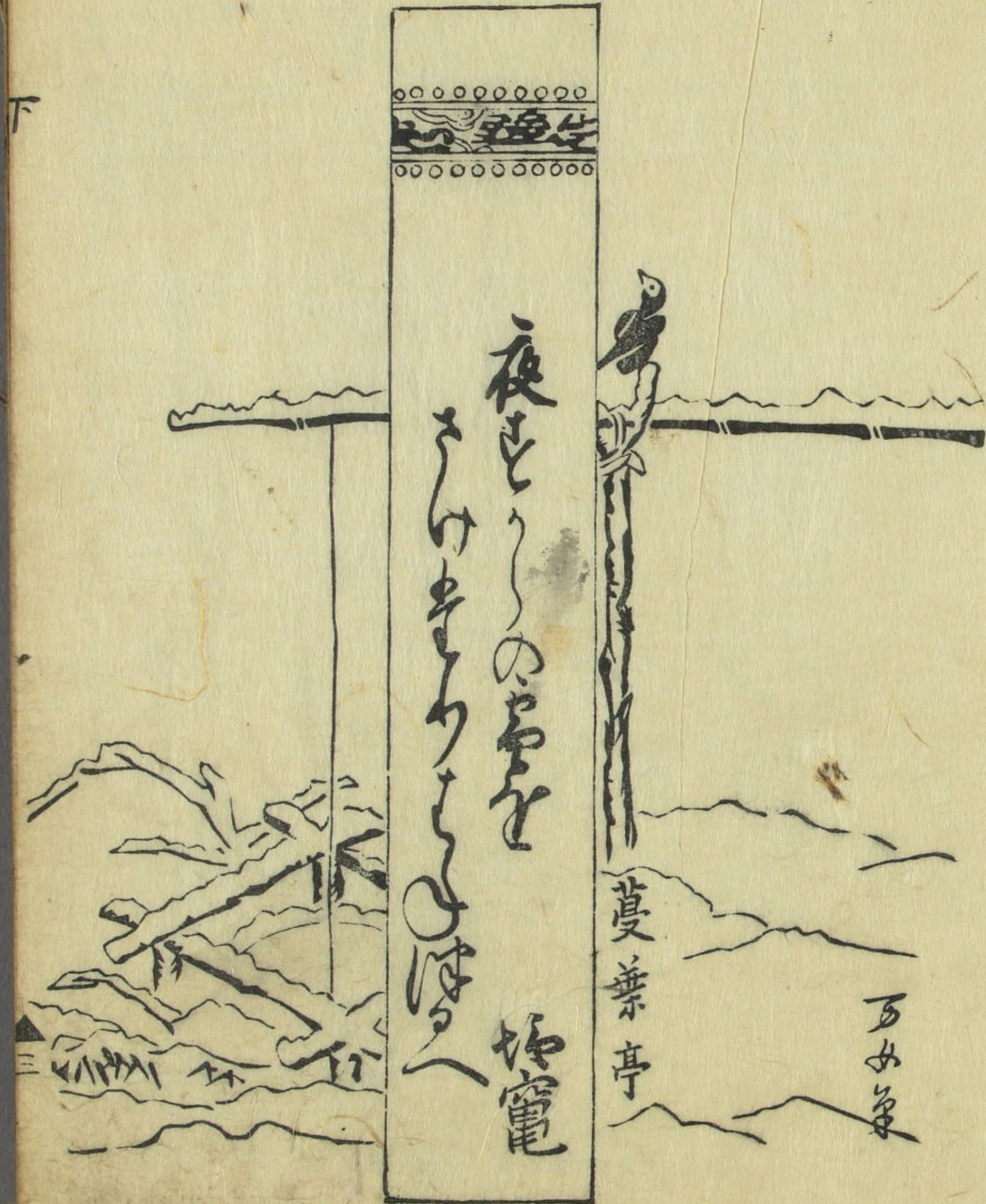
祝い日の小女房お梅様  
伴成

女房と経ふうと花乃右立舞

山吹花の  
昔の  
お梅さん  
正興



下



夜まじりの音を  
さけきりうらひはる

地竈

蔓葉亭

百女集



盃は是結の散り  
ふれり如

槐涼

小野赤淮堂

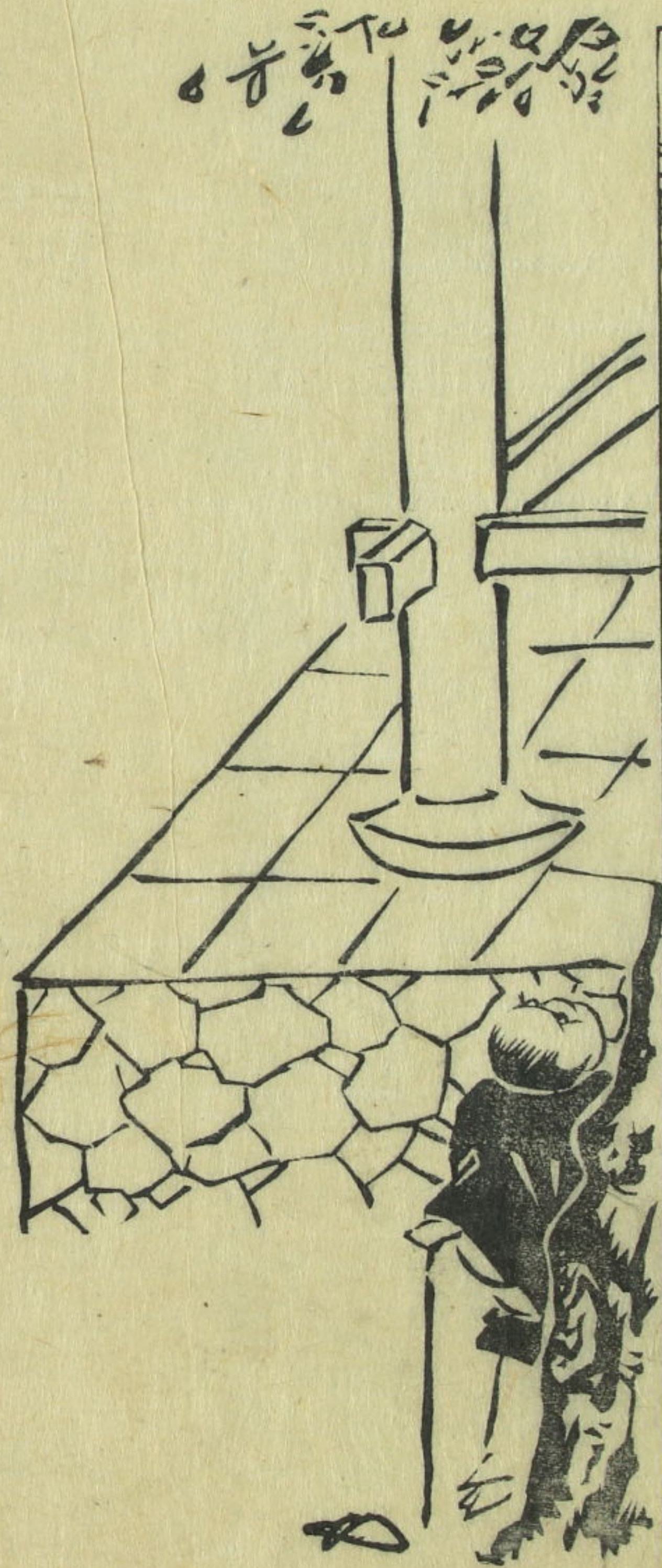
豆老集





蓮花をば掛紙也  
 青安丸 中松

梨中画  
 音

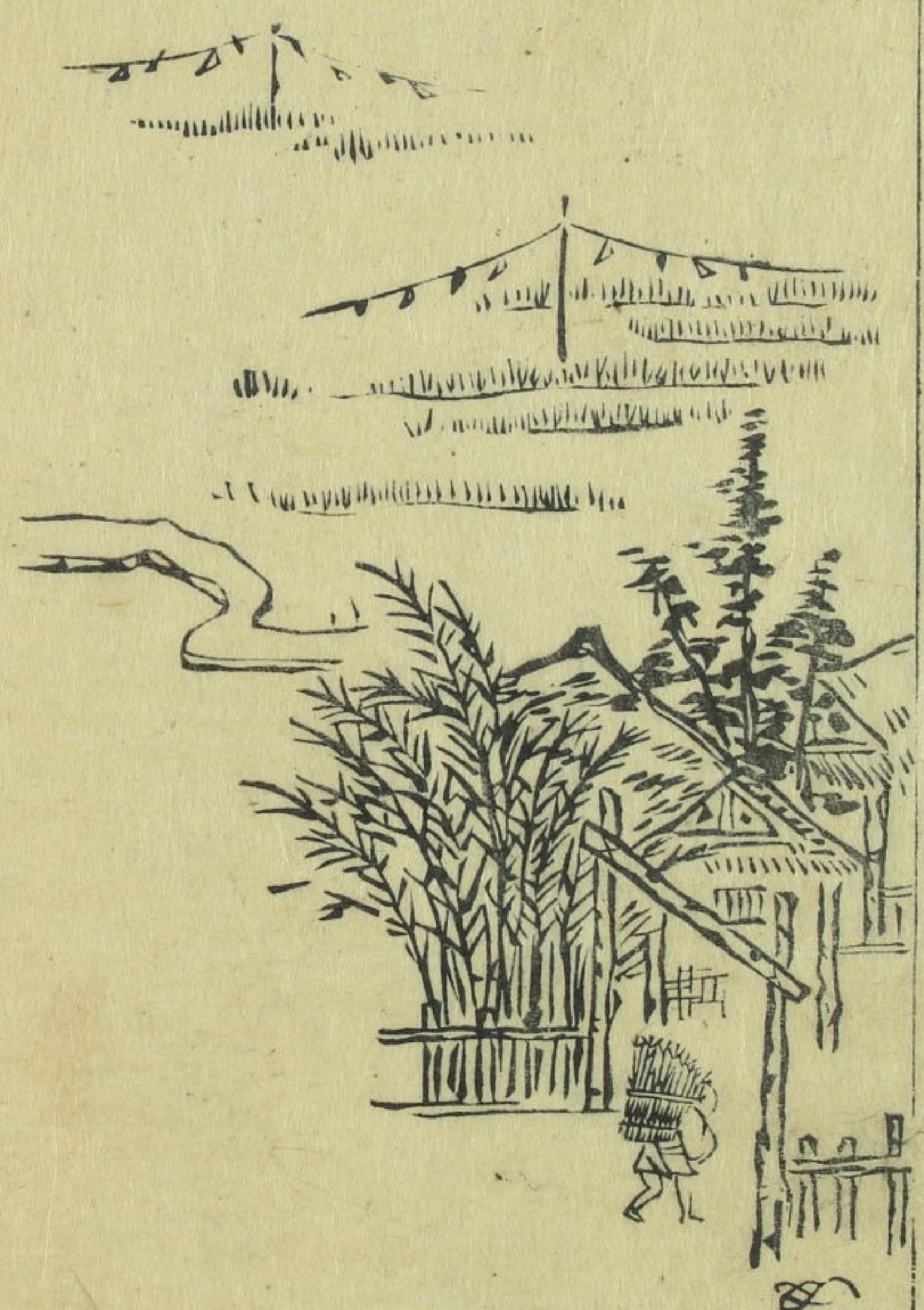


蓮花をば掛紙也  
 青安丸 中松

升意堂



鳴物や以基如心  
真州白川住



真州白川住  
静紫

真州白川住

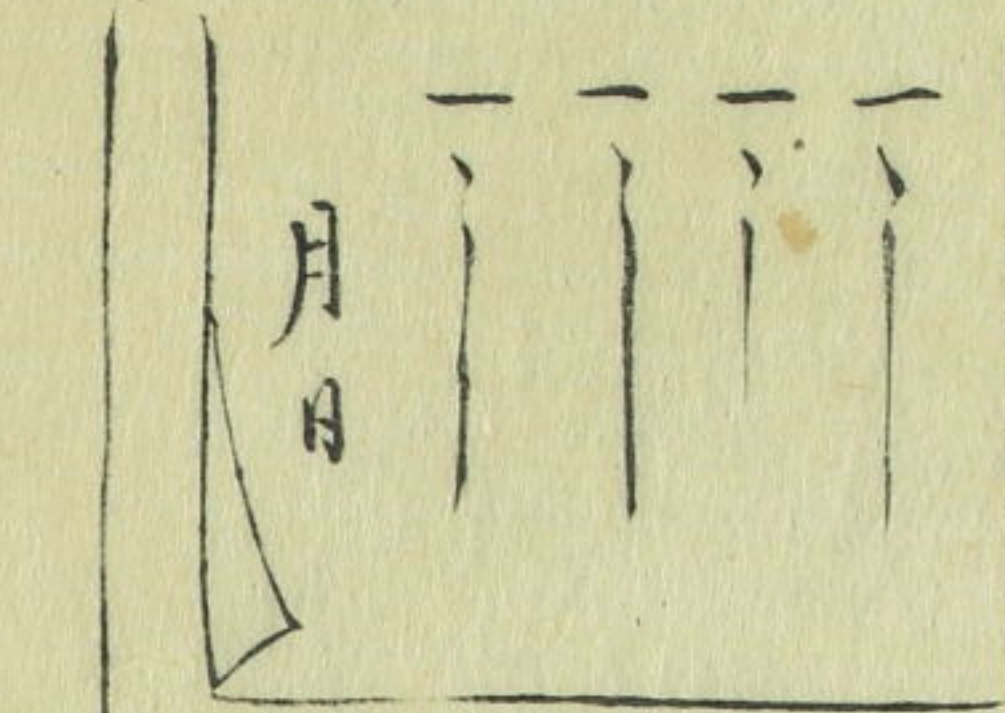




江州大津住  
 遊歴乃 庵りし  
 終り 奇芳

大津  
 奇芳

月日



真州白川住  
 雲如海屋の口齒のふりて  
 灘風

真州白川住

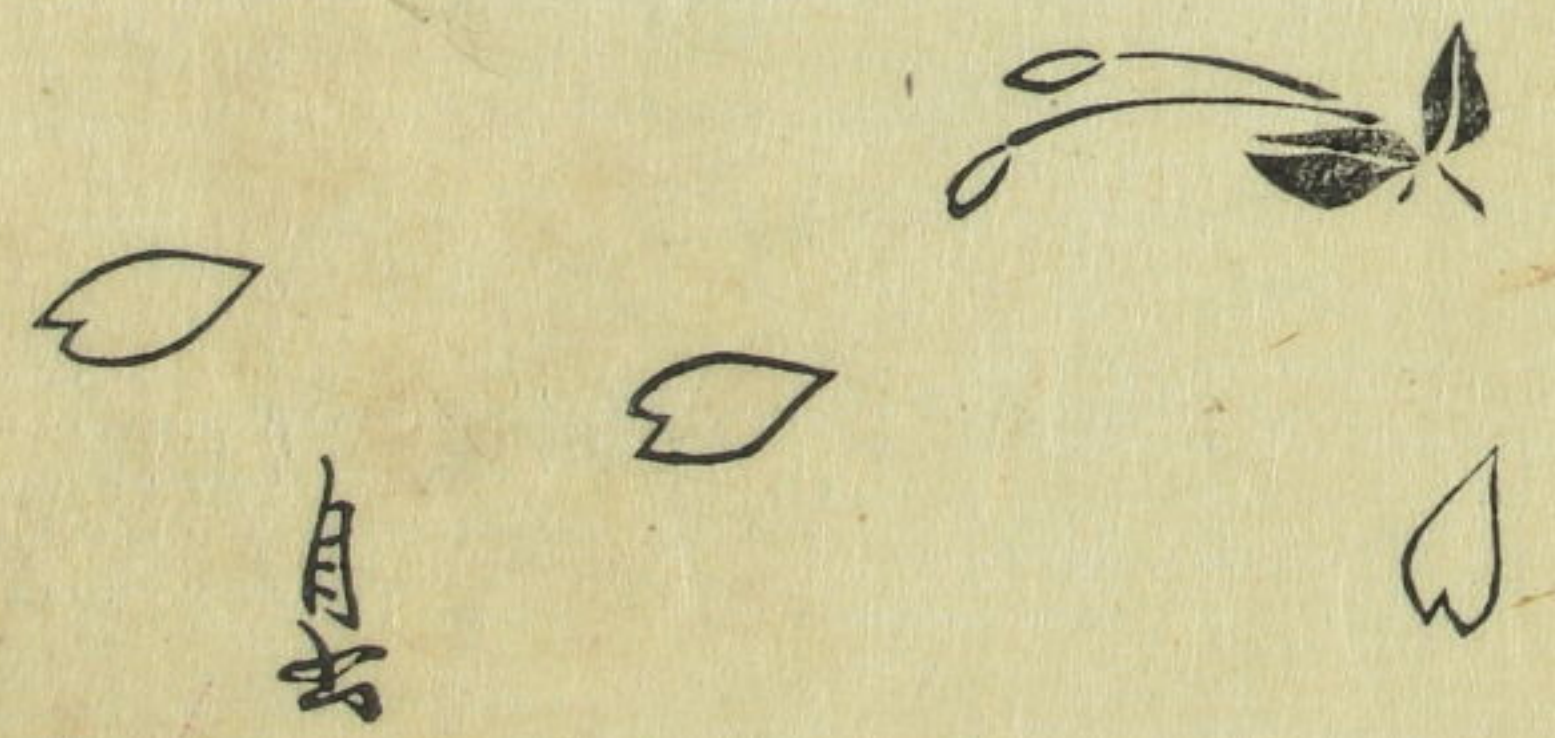


四



春の柳枝  
 のもと茶屋

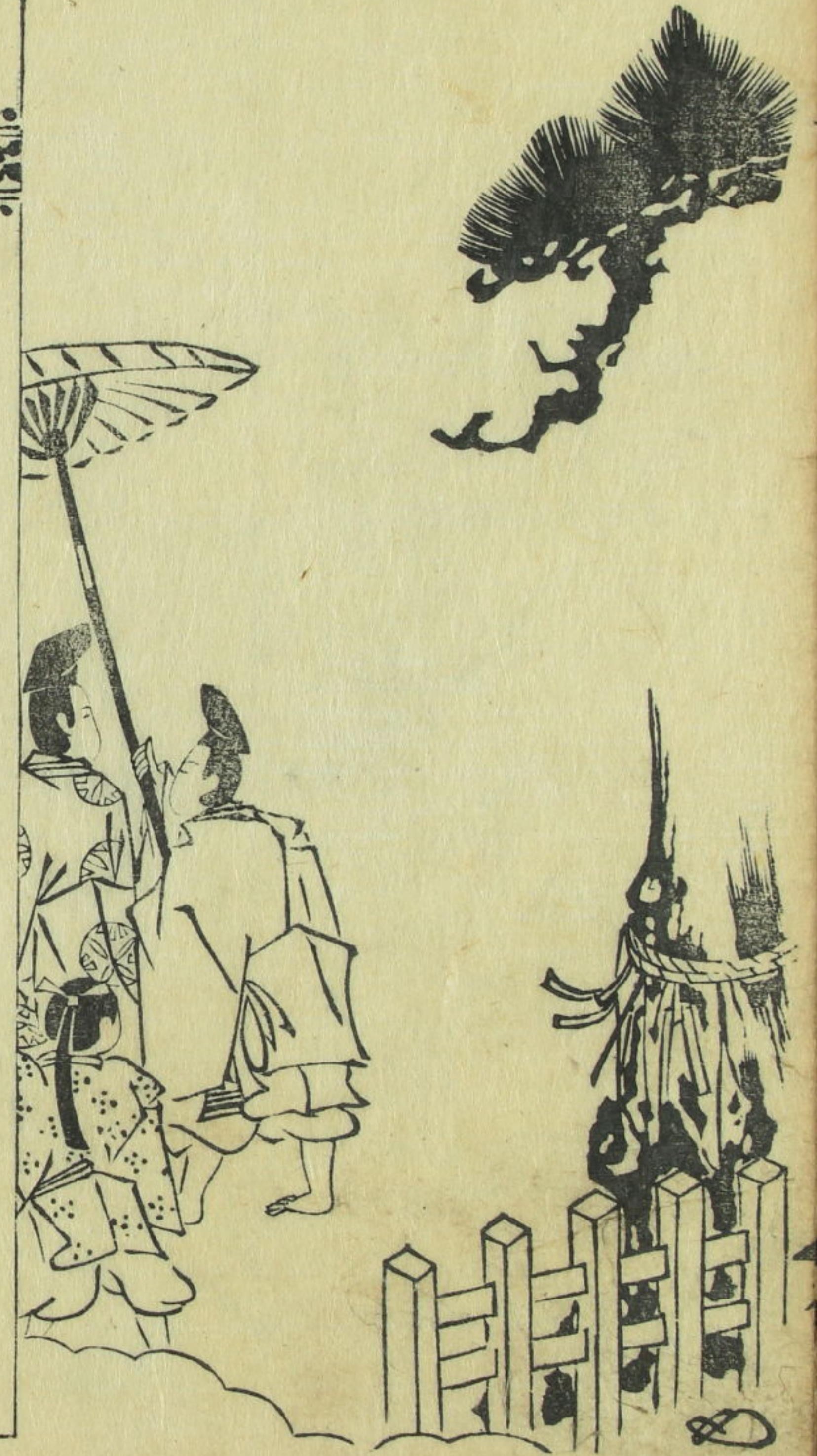
京都住



自書

郭公の御  
 帝侍

京都住



掬水

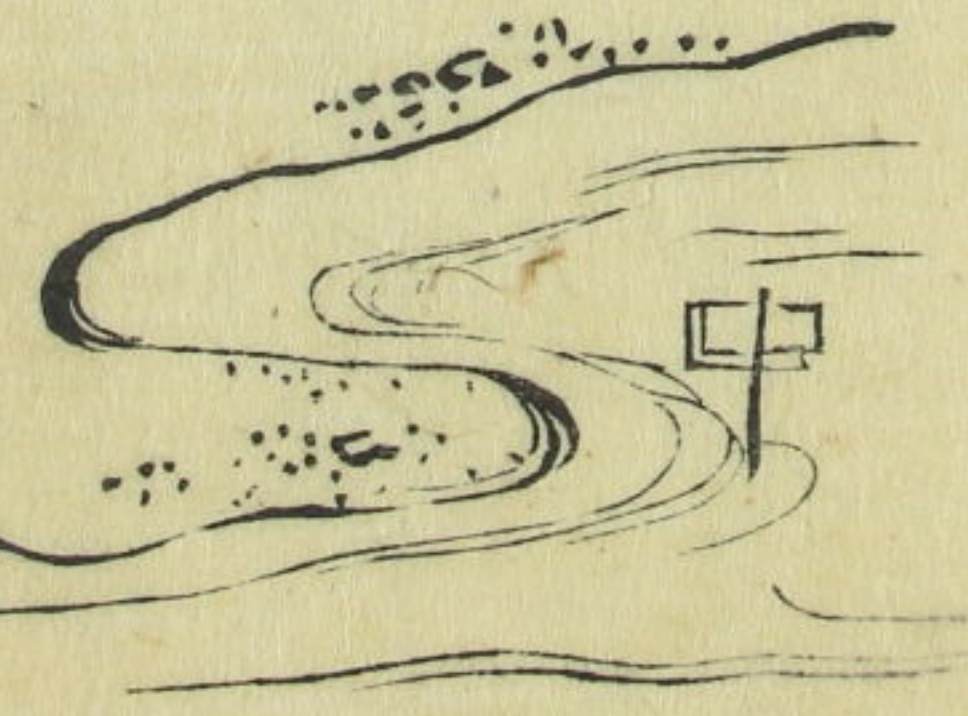


下

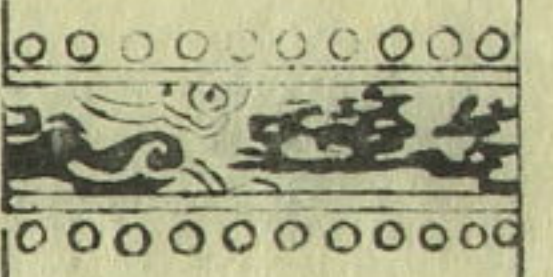
あしひつろふなりあは夏衣 智十



節



総州結城住



総州結城住 破岡氏

白丁も信者ハ

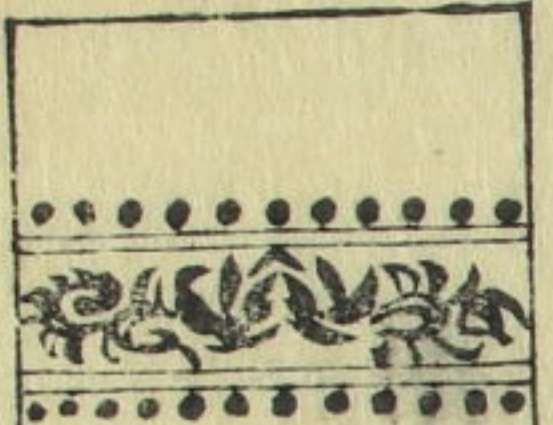
桃の屯

用午

自画







東山遺譜  
竹橋乃  
桃舟

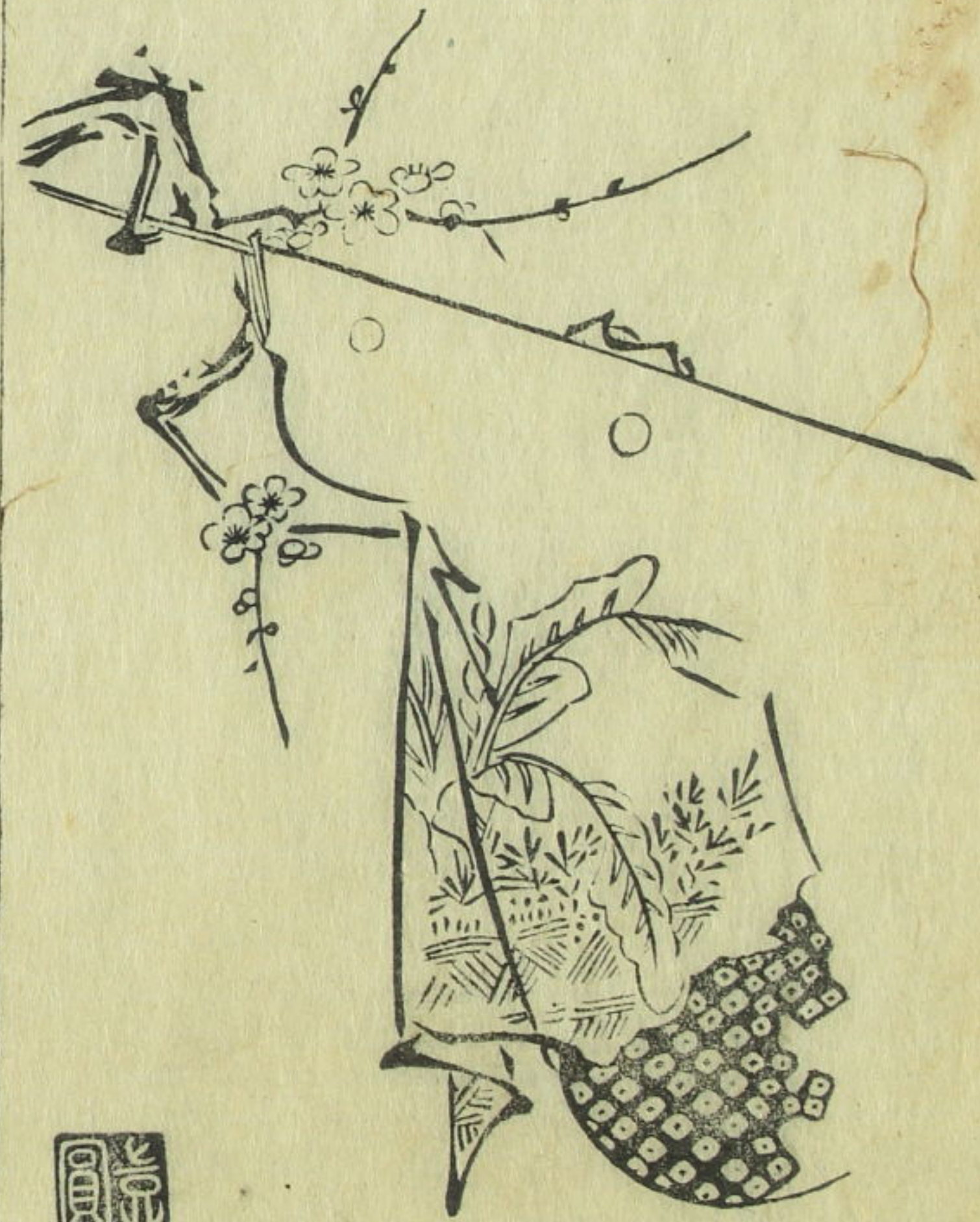
武州 巖之住

九

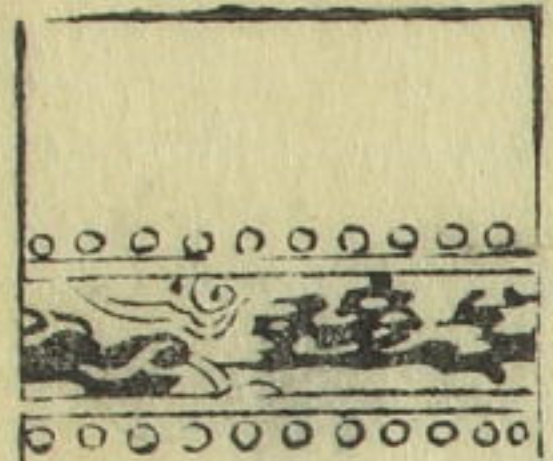


室山好水乃  
以中

忍園 秋  
上野佐野屋







乳子傳と云ふとありとて  
夕暮、貞 松玉



賣之娘、たう遊の  
あまこゝろ 鴉牛 穉子



仙菓堂



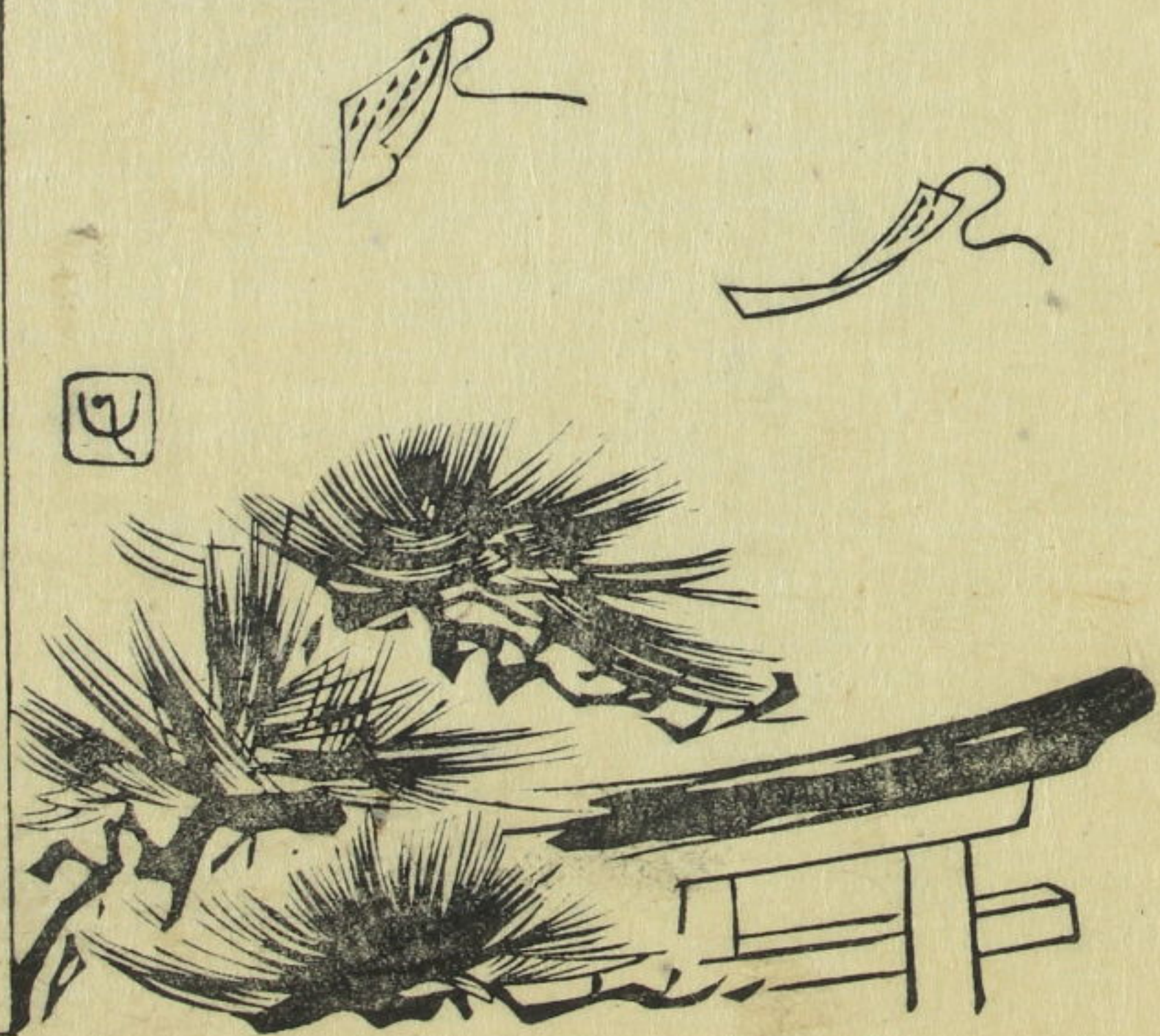
下



まはな来て雪天那也天の川 暮琴

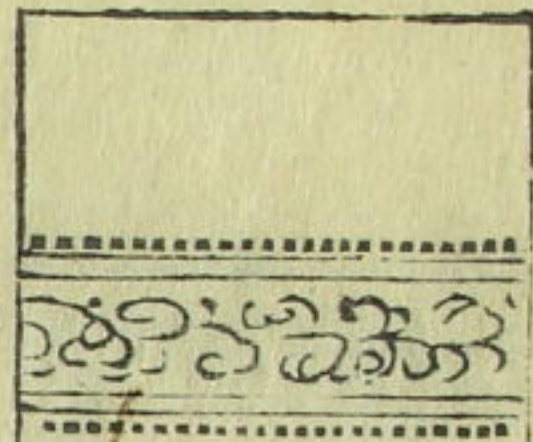
越前鯖江住

十二



木

木

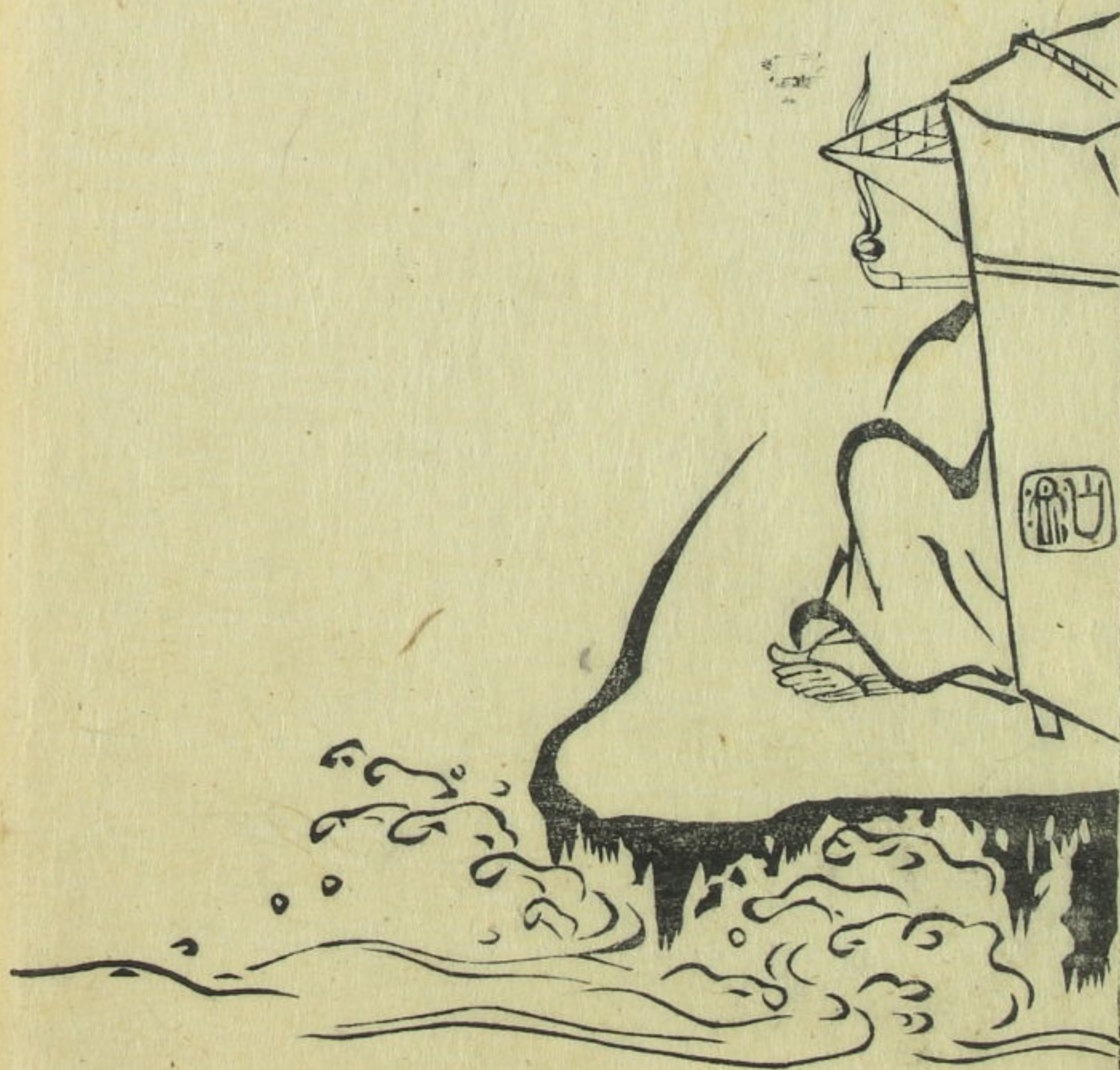


岩山

枕流亭

長吟

総州結城住





涼き夏の夕べの雨 不宣

上州松井田佐



大東女御の御衣の部公 字石

垣衣亭

清信筆



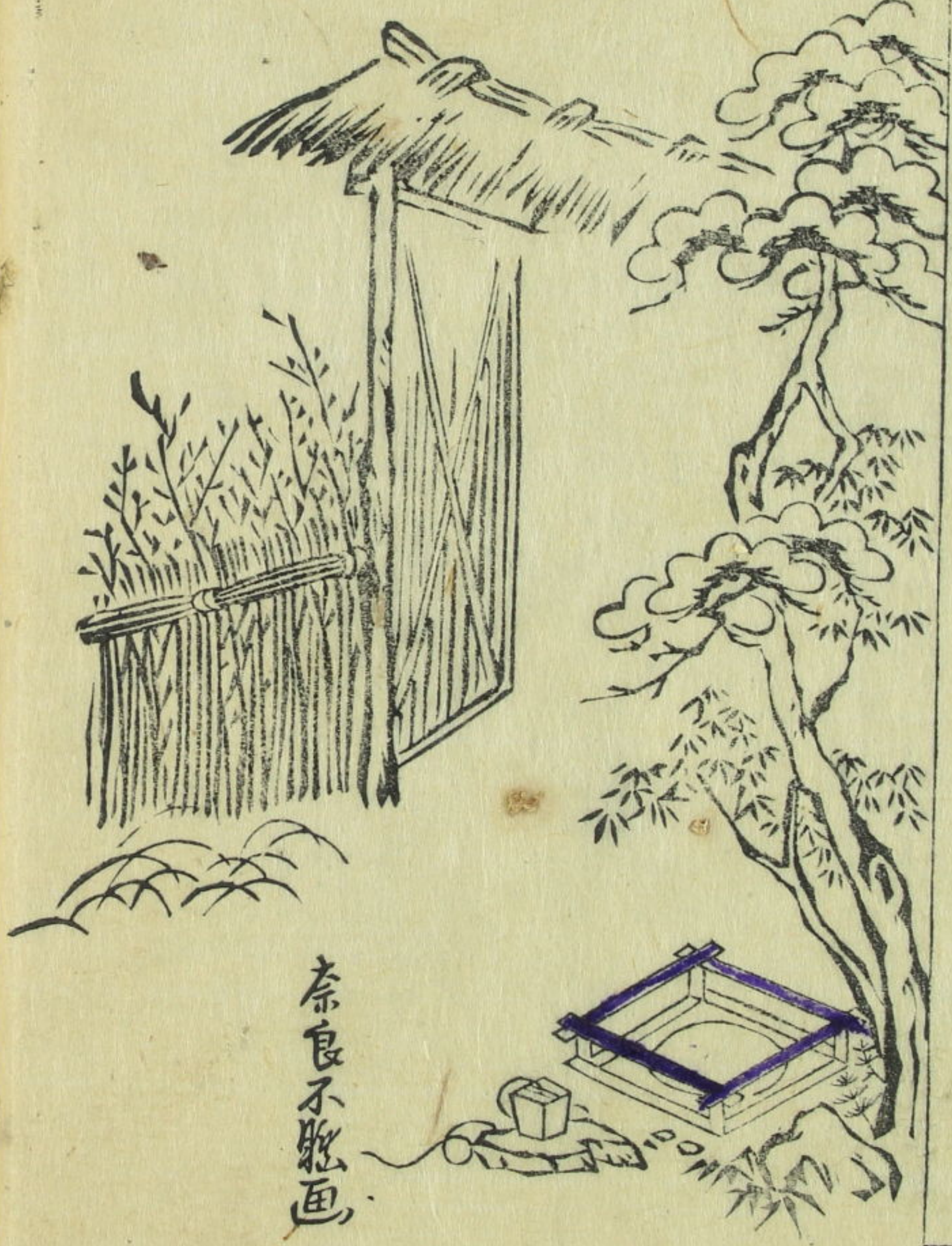




久々也 善乃自以也 好徳  
梅不之

上州松井田住

納戸出之也



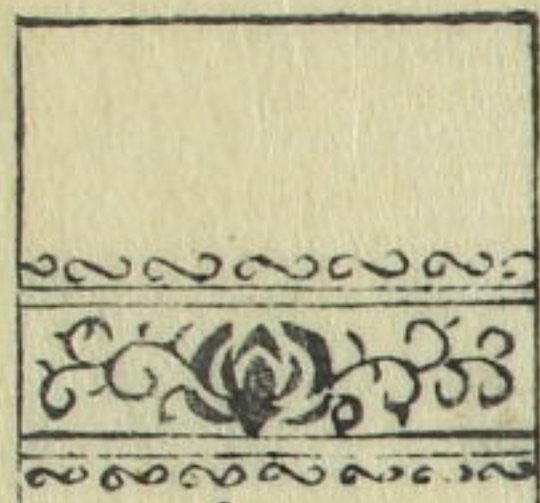
御日の有の乃新と見る也梨花秀蘭

奈良不懸画

上州松井田住

十三





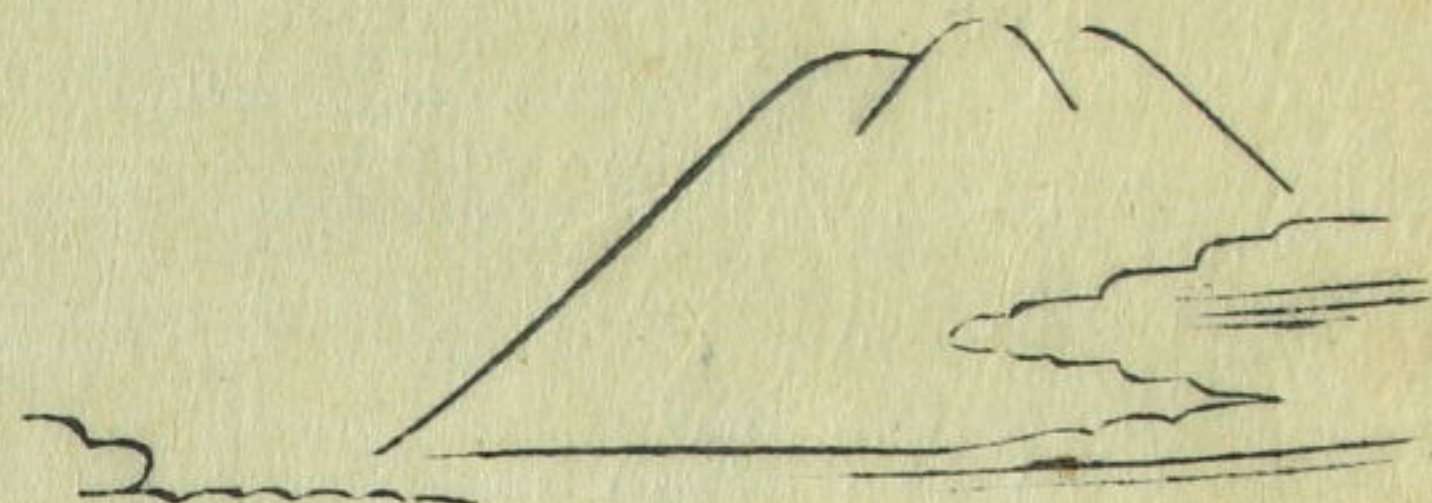
海海朝立牡丹

東宇

上州松井田住



起傳



脾胃老饒

去乃公

不睡画

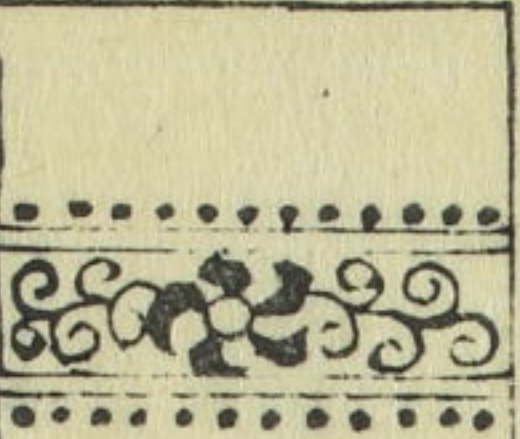


上州松井田住






不睡虫

  
 檜原の麓の長命寺 己百

上州松井田佐



砧夕虫

  
 高取や雲子部部を掃除 山址

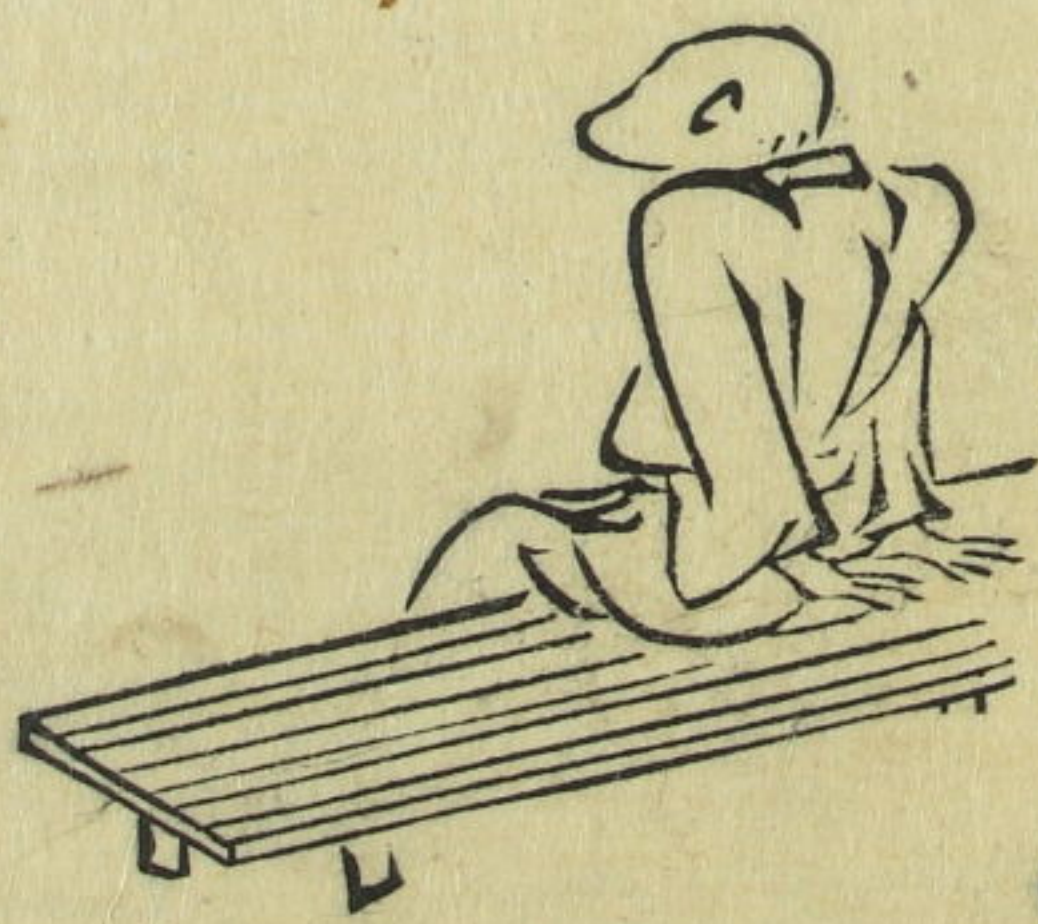
上州松井田佐



雲乃春はまゝもくやま子々々周道

上州松井田住

十七



約井堂画

福小よのあまごゝろ  
鳥ハ馬麻  
可考

上州松井田住



甫省画

十八

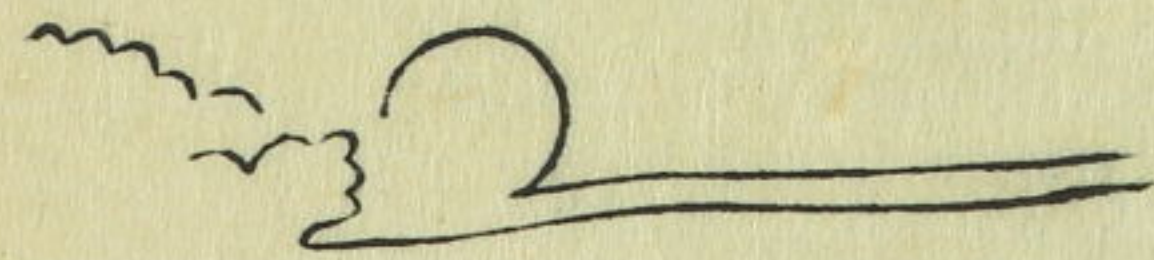


雛ちるる布施の毎天ハ  
 子神し

上州松井田佐佐田氏



礎夕画



小島印量より子月里凡

上州松井田佐



為丹之画





古林斎常好止

追分の上野  
 此標の  
 高き  
 祝賀

上州安中住

冬山に  
 松色  
 百枝



海云



志つく乃心と欲きき之風

花てしき  
た看扱山山  
今又

おりけりて半醒乃梅ハ當國

おらききりあし  
——  
種枯後排菊

法  
——  
一

龜休扱







自畫

灌佛や 益が 様入 氣 瀧月

五重軒

椿葉の系より 聲寒の 東管

白と赤の 籠物 木の葉 枕指

人賞の 小なる 牡丹の 巻物

波とく 布子 布花 琴松





艸列の志智 枯中亦有室

自画  
[Seal]





シ

夫の節に因りてや羨んばこ  
和少

野中泉

題圖

相



海棠花侍へいしの  
上まゆら  
沼津



考松へ松腥  
 糸の糸  
 立意



越前本保任

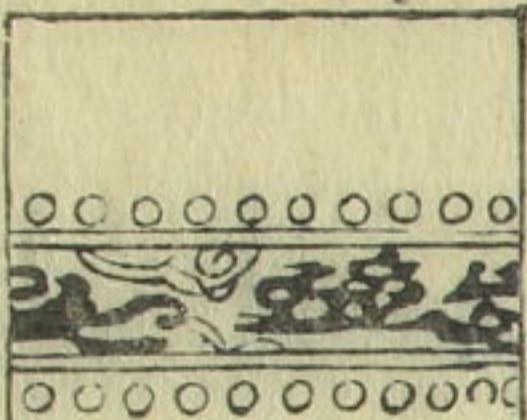
龍煙いらいま  
 松めてほる卯  
 十橋



甲州之住



下



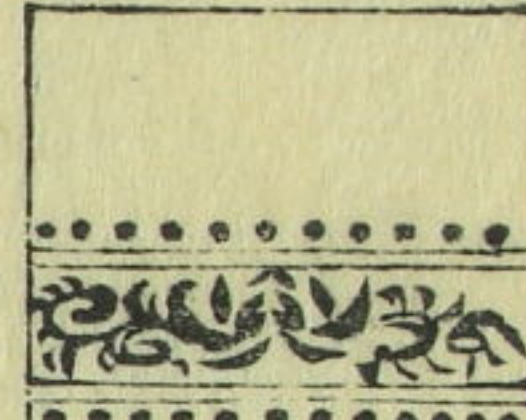
子に親を養ひて  
舟に舟を  
養ひて

松本住  
常隆云



信州松本住藤森氏

廿五



子に親を  
養ひて  
舟に舟を  
養ひて

越前本保住



玉全画

廿六



下



東の川子魚一公が峯天

伊賀上野住 浅井氏



此の集れりて 大角豆畑  
 玉川

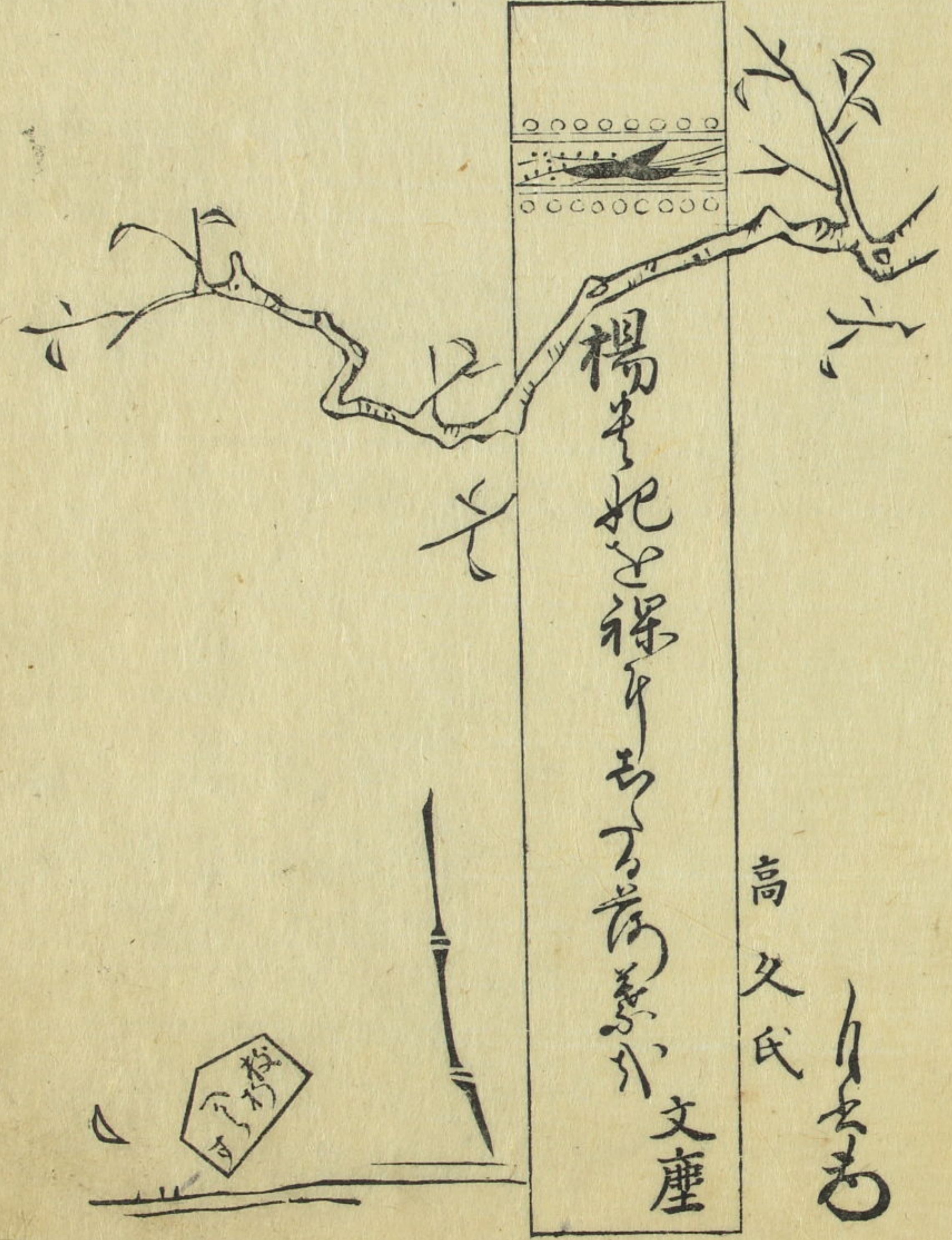
武州千住之住



物月堂の印



下



六七



銀濤宮  
印

伊賀上野住菊岡氏  
印

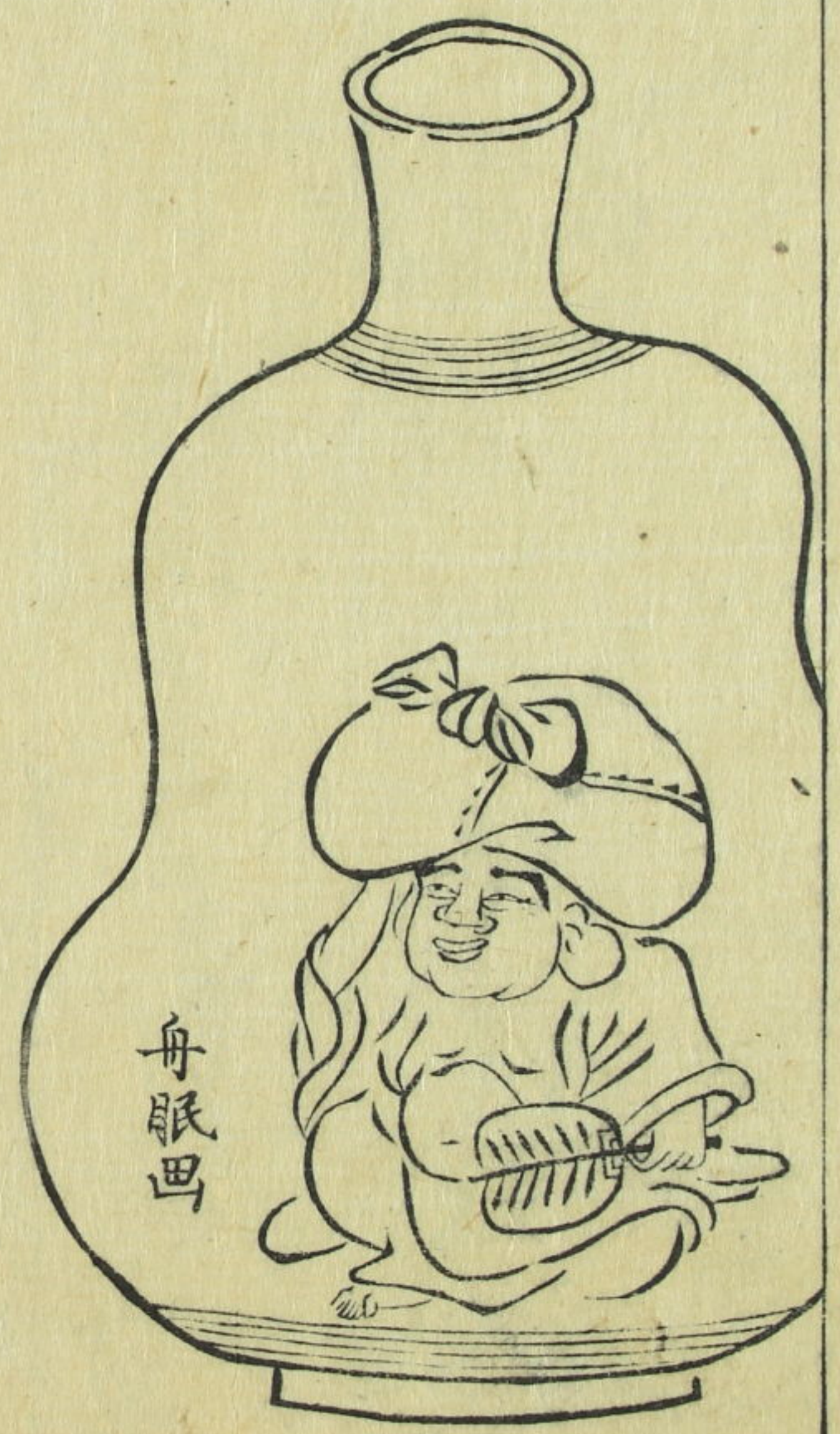
伊賀上野住菊岡氏

九六





猿猴乃女刀尔乃尾花如高



舟眠回

山系... 帝之長松  
新酒味 長仁

国性堂



名仙やうのあゝいふか  
茶のほひ

武州 藤之任

十乃道いふ梅清知  
李南

漢底布袋  
癖言妙く座  
旭茶

子軒字の兼  
影流  
治臨

百華一貫の作りの花袋  
は

是をあつあつと  
は

萬華の  
は

あつあつ  
は

あつあつ  
は



二二二二二二二二二二二二二二二二

存(堂)堂の金手紙

六二二二二二二二二二二二二二二二

享保八癸卯天

十一月下浣

撰者 菊岡沾涼

江戸日本橋南一丁目

書林 万屋清兵衛版

彫工 吉田宇白





